

平成 29 年度事業計画書

基本方針

昨今、国内外の社会経済情勢は、激しく変動し先行きの不透明感が強くなっています。また、協会を取り巻く環境は、自治体の財政問題や、企業、団体の経営状況の変化もあり、厳しさが続いています。

国は、「国民の健康寿命が延伸する社会」に向けた多面的な施策を展開しています。神奈川県は、「神奈川県がん対策推進計画」「かながわ健康プラン 21（第 2 次）」「未病を改善するかながわ宣言」で誰もが生き生きと健康に暮らし、充実した人生をおくることができる社会の実現に向けて、県民の理解と参加を呼びかけています。

協会は、これらの施策に積極的に協力するとともに、長年にわたり培ってきた予防医学の技術、即ち、健（検）診と栄養、運動、生活習慣の改善等を包括する総合健康支援の取組みによって、高齢期を迎えても、健康で活力ある暮らしを享受できる健康長寿社会の実現に寄与することを目指していきます。

今、国民の健康意識の高まりに伴い、国も自治体も企業もこぞって健康寿命の延伸を目指す健康づくりに取り組んでいます。協会は、その健康へのうねりをしっかり捉え、激動する時代のニーズに的確に応え「高質で真に価値のある健康総合支援サービスの創造」に邁進します。

年来の課題である協会活動の、質的向上・体質の強靱化を目指し、各事業の内容充実、運営改善の取組みを継承します。その実現の鍵として、「自分が仕事を創り出す。仕事を極めていく。」との志の下、全ての業務の改善・改革を進め、顧客から強く求められている効果的・効率的なサービス実現への道を拓きます。

I. このような施策等の実現に向けて、顧客の個別で多様なニーズに応える体制の整備を図り、次の重点課題を継承します。

1. 事業構造の見直し再構築
2. 新規事業の開発
3. すべての事業の見直し改善・改革
4. ICTの活用による効果的・効率的なビジネスシステムの創造
5. 事業構造の再構築に対応する施設並びに健診・検査機器の整備

II. 具体的に取り組む重点項目は次のとおりとします。

1. ICTを活用した総合健康支援システムを構築します。
2. 公益法人としての社会的責任(CSR)を果たし法令順守に努め事業を推進し

ます。

3. 予防医療体制を拡充し、包括的な健康支援の充実を図ります。
4. 行政をはじめ医師会、大学などの関係機関との緊密な協力体制を基本とした活動を継続します。
5. プライバシーマークの精神に則り、個人情報保護管理の体制強化と I S O 9 0 0 1 の基本理念である品質管理の維持向上に努力を重ねます。
6. 顧客の視点にたった接遇と教育による快適受診の向上を図ります。
7. 事業収入の拡大に努力するとともに、すべての業務遂行工程の効率化と改善に取り組みます。
8. 禁煙・受動喫煙防止活動とピンクリボン活動を草の根運動として推進します。
9. 県民の健康増進と福祉の向上を目指した広報活動を展開します。
10. 安心・安全な職場づくりで良好な職場環境の実現に取り組みます。
11. 第7次グリーン・プランを平成29年度まで延長し、平成30年度からの第8次グリーン・プランの策定を進めます。

実施計画

I. 健診・検査及び予防医療事業

本年度の保健医療事業を取り巻く環境は、まだまだ不安定感もあり、協会事業が大きく変化することも予想されます。さらに、他機関との競争の激化に伴い価格を含めた事業の効率化がさらに求められます。

協会の健診・検査は、「健康寿命の延伸」の支援活動として、実施の過程で予防医学知識の普及啓発活動を推進し健康意識の向上を図るとともに、個人の健康情報を活用した保健指導やフォローアップを行い、これらを「包括的な健康支援サービス」の一環として推進します。

さらに、既存事業の見直しによる改善で低コスト化体質への変革に取り組むことで「高質で真に価値のある健康支援サービスをリーズナブルな料金で提供していく」というコンセプトを継続し「協会だからこそできる健康支援」を創造していきます。

平成29年度の健診検査目標数を別表のとおりとし、各保健分野別事業の重点項目を次に示します。

1. 地域保健分野

地域保健の骨格をなすがん検診は、国や神奈川県のがん対策に呼応した検診体制の強化と整備を図ります。国のがん検診の指針の改正に伴い、一部の自治体においてマンモグラフィ単独検診を開始いたします。

1町の住民を対象として、大学、医療機器メーカーが開始した実証実験（運動器障害による介護費用増大抑制を目的とした早期のロコモティブシンドロームの発見・予防的介入）に引き続き協力いたします。

また、協会は、科学的知見に基づく質の高いがん検診を実施し、受診しやすい環境の整備と受診率向上対策を推進します。現在、がん対策推進基本計画の見直し作業が進められていますが、新しい計画に基づき、国、県、市町村のがん対策に協力いたします。

平成30年度から第三期特定健診・特定保健指導が開始されるのに先立ち、見直される内容等に的確に対応できるよう準備を進めます。

次の重点項目に取り組みます。

- ① 健康管理業務の代行機関として、受診勧奨から精検追跡までの一貫した健康管理業務のシステムの構築と運用
- ② 県・市町村をはじめ神奈川県都市衛生行政協議会、町村保健衛生連絡協議会等との連携強化と協同事業の実施
- ③ ピンクリボン活動による乳がん検診啓発活動の推進

- ④ マンモグラフィ検査の「ソフトコピー診断」の運用継続
- ⑤ 乳がん検診における超音波検査導入のための体制整備

2. 産業保健分野

労働安全衛生法に基づく「ストレスチェック制度」（平成 27 年 12 月 1 日に義務化）の、さらなる機能の充実を図り事業の拡大を目指します。

多様化する個人の健康ニーズに応えるためにトータルな健康支援サービスを提供し、受診者一人ひとりの信頼に応え、顧客満足度の向上を図ります。

健康経営の観点から労働者の健康課題の把握や心とからだの健康づくりなど多様化する顧客の健康ニーズを的確に捉え、信頼にも応える提案涉外を推進していきます。

次の重点事項に取り組みます。

(1) 各種健康診断の充実と予防医療の推進

- ① 個人の健康支援事業の拡充
- ② 共同開発事業(国際戦略総合特区・未病を治すかながわ宣言)などの推進
- ③ 「かながわ ME-BYO 見える化センター」として新規事業の構築と拡大
- ④ ACクラブの充実と会員の拡大
- ⑤ 健康らいふ倶楽部の個人会員制の内容充実と拡大
- ⑥ 再検査、精密検査、外来及び初期医療への充実と拡大
- ⑦ 出たら検査の充実と拡大
- ⑧ 特定健診・特定保健指導の評価と事業の推進

(2) 総合健康支援業務の推進

- ① 職場のメンタルヘルス対策（ストレスチェック）の事業拡大
- ② メンタルヘルス事業の充実と過重労働対策の推進
- ③ Assist(健康管理支援ソフト)を活用した健康管理サポートの推進
- ④ 業務の効率化を目指した巡回健診、施設健診におけるWeb予約の推進
- ⑤ 健診全般のデータ管理、事後措置支援までを包括した総合健康支援業務の推進
- ⑥ 労働衛生コンサルタント、健康指導の専門スタッフによる健康管理業務の支援
- ⑦ 健診と連動したフォロー体制の整備（産業医、保健師活動等）
- ⑧ 外部団体（神奈川労働局、協会けんぽ、労安協、健保連神奈川など）との連携による情報収集力の強化

3. 学校保健分野

少子高齢化の進展した社会にあつて、学校における児童生徒の健康管理には積極的な支援をしています。本年度も学校保健安全法に基づく児童生徒の健康保持増進

に向けて、各種検診・検査の精度向上と効率化を推進します。

また、“生涯を通しての健康の基盤づくりは学童期にある”との視点から、行政をはじめ医師会、養護教諭部会、大学病院などの関係機関・団体に構成される検診システムなどに参加し、その充実を図るために積極的に協力します。

次の重点項目に取り組みます。

- ① 各種検診・検査の充実
- ② 対象者情報の電磁媒体等での受領による事務処理の効率化とプライバシー保護を重視したデータ処理システムの定着と拡大
- ③ 各種検診システムの運営充実及び未設置地域のシステム化への協力
- ④ 養護教諭など関係者との緊密な連携
- ⑤ 学童心電図のデジタルファイリング試行の継続
- ⑥ 禁煙・がん予防・肥満など学校現場における教育への協力

4. 母子保健分野

本年度も、子育て支援施策として母子保健検査の充実を図ります。行政及び神奈川県医師会の指導のもとに母子保健分野でのスクリーニングセンターとして、先天性代謝異常検査の内容充実、検査方法の改良、検査技術の向上、データ管理の充実、陽性者の追跡調査などに協力します。

タンデムマス法による検査は、事業の定着化と適正な検査体制の確立を目指します。

5. 環境保健分野

水質検査機関及び簡易専用水道検査機関として、水道法に基づく指定制から改正された登録を受けて、本年度は13年目を迎えようとしています。新規検査機関の参入と価格競争の厳しいなか、従前にも増して効率的な検査体制の強化を図っていきます。

また、継続的に認証を受けているISO9001（品質マネジメントシステム）の基本理念である、品質の向上と顧客満足度の高いサービスの提供に努めるとともに、次の重点事項に取り組みます。

- ① 水道検査における精度の高い分析技術の確保と受託拡大
- ② 簡易専用水道検査等における効率的な検査実施体制の再整備と受託拡大
- ③ 作業環境調査における品質の高いサービスの提供と受託拡大

6. 施設健診

施設健診は、トータルな健康支援の機関として健康診断データと個々の方のライフスタイルを加味した事後フォローの実施で、健康長寿社会の実現に向けて、『未

病』の概念のもとアミノ酸分析やリスク検査などに積極的に取り組むことで生活習慣病リスクの早期発見に貢献します。

併せて、医療安全体制を強化し、安心・安全な健康診断の実施と『おもてなし』の精神による接遇や施設の充実とともに『あなたの相談室』を活用した快適な受診環境を提供します。

次の重点事項に取り組みます。

- ① ロコモ健診などシニア層のための新たな健康診断の事業化
- ② リスク検査を含む新たな検査の事業化
- ③ 地域、専門医療機関との連携による適切な事後フォローの提供
- ④ 正しい健康知識の普及のための受診者間のコミュニティの場の提供
- ⑤ 受診者の方々の快適受診のための設備、接遇の向上
- ⑥ 安心・安全な健康診断の提供のための医療安全体制やスタッフ教育の強化

II. 健康創造活動

日本人の平均寿命は、男性 80.79 歳、女性 87.05 歳（平成 27 年厚生労働省「簡易生命表」）といずれも過去最高を更新し、世界有数の長寿国です。しかし「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」である健康寿命と平均寿命の差は男女ともほぼ 10 歳の差があり、「健康日本 21（第 2 次）」は、「健康寿命の延伸」を大きな中心課題として、取り組んでいます。

神奈川県も「かながわ健康プラン 21（第 2 次）」を策定し「未病を治すかながわ宣言」を行い、「健康寿命日本一」を目指した県民健康づくり運動をスタートさせています。健康寿命を延伸するためには、個々の人が、運動、栄養、社会参加の三つのすべての要素に積極的に取り組むことが大切です。

協会も県が推進する「未病センター推進協議会」や「未病産業研究会」などに参画し、新しい健診・検査の開発や個人への医療情報提供システムの構築など、時代に即した活動に取り組んでいます。

また、協会が長年にわたって培ってきた健康診断とその結果に基づく保健相談や保健指導等を含めた健康診断から健康支援までを一貫して行う体制を専門職の関与により、いっそう充実させました。すなわち受診者の運動・栄養・生活習慣の改善等に取り組み、生活習慣病予防や介護予防についての知識の普及啓発活動を展開するとともに県民の総合的な健康支援を行っていきます。さらに、労働安全衛生法の一部改正に伴い、一昨年 12 月にスタートしたストレスチェック制度への対応など働く人のメンタルヘルス対策の充実にも努めます。

1. 広報活動

県民の健康の増進と福祉の向上を目的とした広報活動を展開するとともに、協会の理念と事業の実績を踏まえ、県民の高い信頼が得られるよう公益財団法人と

しての活動を県民に情報発信していきます。

- ① 定期刊行物の機関紙「健康かながわ」（月刊）、研究誌「予防医学」（年刊）、事業報告誌「事業年報」（年刊）、個人受診者会報誌「マリンブルー」（年3回）の内容の充実
- ② ホームページの充実やデジタルサイネージ（電子看板）の積極的な活用
- ③ マスメディアへのパブリシティ等による協会事業の普及・推進
- ④ 関係団体と連携を深め、がん予防啓発活動や受動喫煙防止、未病改善等の啓発

2. 健康支援活動

- ① 健康診断結果に基づく運動・栄養・生活指導を主とした生活習慣病予防・改善指導の充実
- ② 各種団体からのニーズに的確に応え、集団特性に応じた健康支援活動の推進
- ③ 各種団体の衛生管理担当者や個人受診者と連携を深め、最新の健康情報やトピックスを提供する「かながわ健康支援セミナー」「健康講座」の定期開催

3. 保健相談活動

労働者を取り巻く環境は年々厳しくなり、一般定期健康診断の有所見率や、ストレスが関係した精神障害もともに増えています。そのような社会のニーズに応え、産業保健の視点から、事業場のニーズに即した保健サービスが提供できるよう産業看護活動を展開します。そして、産業看護専門職としての「技術」向上を目指します。また、良質な保健指導の実施体制を維持するために、マンパワーの確保と事業継続に努力します。

（1）保健相談事業

契約内容により健康診断結果に基づく事後指導から、特定保健指導等の実施、また事業場全体の健康管理を個人、集団、組織にわたって心身両面から健康支援を行います。

（2）保健指導の品質管理

保健指導の品質を保ち、顧客へ最良のサービスができるように、保健師教育の見直しと、効果的な内部、外部の研修やOJTを行います。また、保健指導品質管理委員会活動を継続し、内部監査などでチェックし改善につなげます。

4. メンタルヘルス事業の推進

ストレスチェックの義務化を受けて、協会が構築したシステムを運用しながら課題を検討し、顧客が利用しやすく効果的な支援を目指します。

5. 禁煙・受動喫煙防止活動

協会は「禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川県（平成 28 年 6 月改称）」及び「スモークフリー推進かながわ基金」設立の当初から事務局を引き受け、県が進める受動喫煙防止対策に協力しています。また、同組織を通して県内の関係団体と連携し、学校・地域・職域において禁煙支援活動など受動喫煙防止対策を推進していきます。

6. ピンクリボン活動

平成 18 年度から NPO 法人乳房健康研究会と協会で構成された「ピンクリボンかながわ」が行っている乳がん啓発活動も 10 年を経過しました。その間、県内市町村や企業・団体との連携も拡大してきており、今後も県から貸与されたマンモグラフィ検診車の活用を図り、県内市町村や企業・団体のイベントに積極的に協力し、乳がんの受診率向上に寄与することを目指します。

Ⅲ. 内部体制の充実

法令を順守し、社会的信用と信頼性の保持された協会事業運営を進め、協会の果たすべき役割をより一層発揮すると共に、事業を円滑に推進するため、引続き次の事項を重点に取り組みます。

1. 事業運営の安定化

公益目的事業の推進に努めるとともに、渉外活動の実践を通して、顧客の定着と新規開拓を進め、健全な事業運営と事業収入の確保に努力します。

また、すべての事業実施方法を見直し、事業の効率化、業務能率の向上を進め、財政基盤の安定化及び事業効率のより一層の向上に努めます。

職員は経営資源と位置づけて、健康経営の観点から、職員一人ひとりの健康の維持・増進に対する支援を充実させ活気ある職場の形成に努めます。

2. 健診実施運営体制の再整備

巡回健診及び施設健診の実施運営体制を逐次見直し・改善を行い、快適な受診環境を目指しお客様へのサービスと接遇の向上をさらに進めるとともに、健診方法の見直し・改善や健診スタッフの効果的、効率的な配置などに取り組み、健診実施運営の効率化を推進します。

また、健康寿命の延伸を目的とした事後指導・健康支援活動を強化するために、予防医療体制の充実を引続き図っていきます。

3. コンピュータ・システムの充実

協会事業のサービス向上と業務効率化の推進を目指して開発した基幹システムの強化とさらなる機能向上を目的とした改修を引続き行っていきます。

特に、基幹システムをはじめとする協会内の各種システムについて、有機的に統合された運用を目指し、連携した設計・開発を行い高い相乗効果を求めていきます。

また、ICTの活用を積極的に進め、協会の事業運営及び健診事業において、効果的・効率的な健康支援機関としてのビジネスモデル事業の推進と創造に引き続き取り組めます。

4. その他

(1) 機器等の整備

事業構造の再構築に対応する施設及び健診・検査機器等の整備をはじめ、保健医療技術や情報技術などの高度化、健診・検査の精度の維持・向上、お客様サービス水準の向上及び業務効率化等に対応するために、健診・検査機器等の調達を進めていきます。

(2) 健診総合精度管理の推進

協会職員の技術水準をより一層向上させるため、内部研修を進めるとともに、全国団体や学会、研究会などの各種研修会に参加します。

また、健診・検査の精度を維持・向上させるため、健診・検査業務の継続的な

評価と見直しによる標準化とマニュアル整備などを進めて、内部精度管理を徹底するとともに、外部精度管理調査にも積極的に参加し、信頼性の向上に繋がっていきます。

IV. 調査・研究の推進

日常業務の課題を取り上げ、大学や研究機関などの指導と協力を得て予防医学に関する調査・研究を行い、その成果は、関係学会や研究会などでの発表を推進します。

(*) は新規、(共同) は大学・研究機関などとの共同研究を指します。

1. 呼吸器関係

- ① 集団検診における肺がんの早期発見の研究
- ② 厚木市・大和市の肺がん検診(読影)事業について
- ③ 肺がんCT検診を利用した背景肺病変(気腫、間質性変化)に対する疫学・観察研究(※)

2. 婦人科関係

- ① がん検診診断法の改良に関する研究(HPV)
- ② 細胞診判定ASC-USの転記—その現状と新しい基準の判定(※)

3. 循環器関係

- ① 動脈硬化度とその危険因子の新たな測定法の開発
- ② メタボリックシンドロームのICT技術等を活用した効果的指導法の確率(共同)
- ③ 生活習慣病とアミノ酸に関する研究(共同)

4. がん予防関係

- ① がんのリスク分類とアミノ酸に関する研究(共同)

- ② P S A値と前立腺癌早期発見に関する研究
- ③ キャンサーサバイバーの健康管理に関する研究

5. 健康管理関係

- ① 健康診断(人間ドック)における早期関節リウマチ患者の診断システムの確立及び同集団の関節リウマチ罹患率などの研究
- ② 検査値と生活習慣病との関係について
- ③ 健診時面接での保健指導効果の検討(※)

6. 検査関係

- ① 先天性代謝異常等検査法改良に関する研究
- ② 成人心電図のデジタル処理の検討
- ③ 学校健診における心電図デジタルファイリングの検討
- ④ L B Cにおける全自動細胞塗抹・標本作製装置T A C A S P r oの有効性について

7. 健康教育関係

- ① 生活習慣病改善プログラムにおける運動療法についての研究
- ② 病的な老化による労働への影響に関する研究